

週間漁海況情報 2025年第49号

令和7年12月9日発行

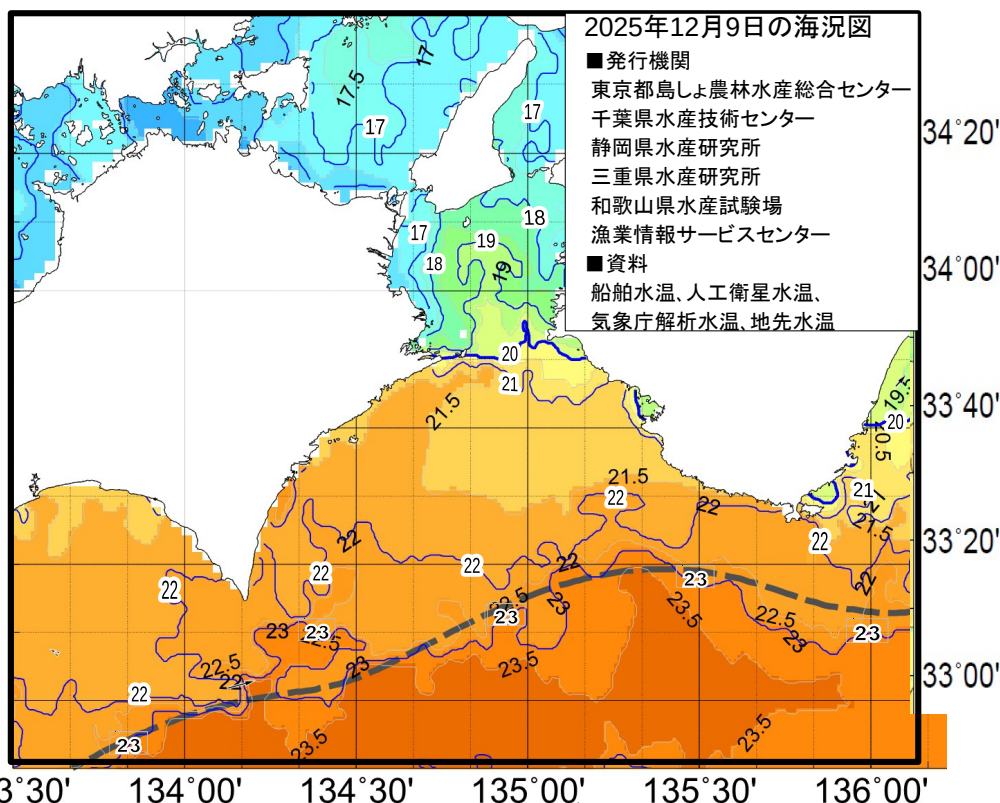
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は22～24℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で16～17、紀伊水道で16～19、海部沿岸で20～21℃台となっている。



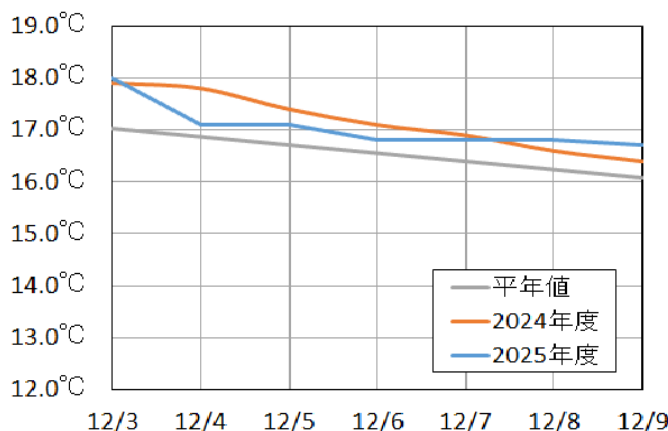
※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸:～25NM やや離岸:25～45NM 離岸:45～65NM 著しく離岸:65NM～
潮岬沖 接岸:～26NM やや離岸:26～56NM 離岸:56～86NM 著しく離岸:86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

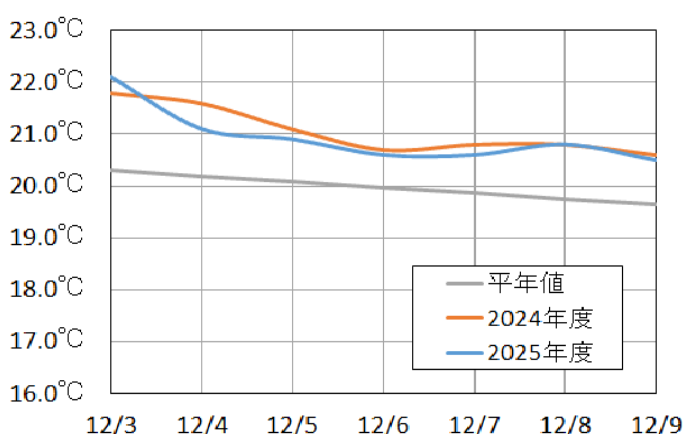
2. 地先水温(12月3日～12月9日)

鳴門地区の水温は、18.0～16.7℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。浅川地区は、22.1～20.5℃で「高め」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.8～4.1℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(12月10日～12月16日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、浅川地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況（12月1日～12月7日）

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが減って11.7トン水揚げされた。

延縄では、あまだい類が増えて1.2トン、サワラが0.9トン水揚げされた。

底びき網では、クマエビが増えて1.3トン、モンゴウイカが増えて1.1トン、ハモが増えて中主体に1.1トン、かます類が大きく減って0.4トン水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく減って大主体に0.3トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に1.7トン、

カワハギが大きく増えて大主体に0.6トン、アイゴが0.5トン、

マルアジが大きく増えて小主体に0.4トン、イサキが大きく増えて0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、ブリが大きく増えて1.4トン、アオリイカが大きく増えて0.3トン水揚げされた。

延縄では、あまだい類が0.4トン水揚げされた。

小型定置網では、アオリイカが大きく増えて小小主体に1.4トン水揚げされた。

大型定置網では、メアジが大きく増えて0.8トン、ヒラソウダが0.7トン、

マルアジが大きく減って小小主体に0.5トン水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	63	シラス	11,742	186		↘
	延縄	63	あまだい類	1,196	19		↗
		37	サワラ	858	23		→
	底びき網	25	クマエビ	1,326	53		↗
		25	モンゴウイカ	1,142	46		↗
		23	ハモ	1,087	47	中主体	↗
		22	かます類	426	19		↘↘
	建網	27	カワハギ	327	12	大主体	↘↘
	小型定置網	24	マアジ	1,741	73	豆あじ級主体	↗
		25	カワハギ	592	24	大主体	↗↗
		19	アイゴ	528	28		→
		19	マルアジ	426	22	小主体	↗↗
		18	イサキ	307	17		↗↗
海部沿岸	釣り	41	ブリ	1,414	34		↗↗
		65	アオリイカ	318	5		↗↗
	延縄	20	あまだい類	424	21		→
	小型定置網	70	アオリイカ	1,359	19	小小主体	↗↗
	大型定置網	6	メアジ	840	140		↗↗
		6	ヒラソウダ	723	120		→
		6	マルアジ	496	83	小小主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘